

COVID19緊急調査⑥ 結果

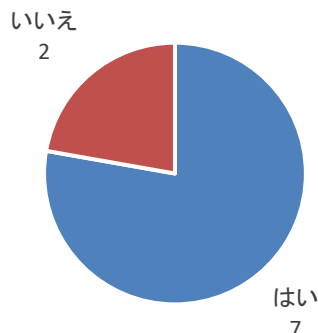
2021.2.2

- 1 対象 県内看護系大学 15施設
- 2 方法 インターネット調査(Web調査)
- 3 調査期間 令和3年1月12日～令和3年1月20日
- 4 回答数 9件(回答率 60.0%)
- 5 結果

◎看護系大学の大学院生や教員の医療現場等への協力について

(1) 教員が協力することは可能だと思いますか

項目	回答数	割合
はい	7	77.8%
いいえ	2	22.2%
合計	9	100.0%

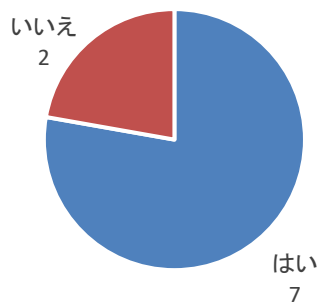


(2) 教員が協力する場合、配慮してほしい事はありますか。

- ・ 臨床実習施設など知っている施設にしてほしい(4)
- ・ 入試要員が足りない状況なので入試時期は避けてほしい
- ・ 時期を考慮してほしい(入試, 年度変わり等は難しい)
- ・ 条件・時間により協力可能であるが、業務内容、関わる時間数については個人及び大学の要望に合わせて欲しい。
- ・ 休暇の取り扱いや謝礼への対応について、学事とのバランスを含む事務的な責任を明確にしておくことが必要である。
- ・ 教員自身の判断による自発的な参加を基本としている。
- ・ 自施設を優先

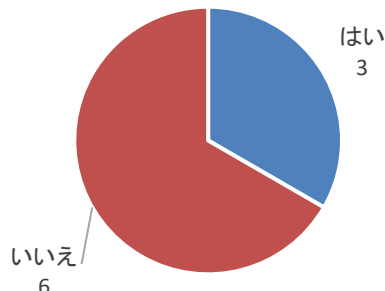
(3) 今までに、医療現場や軽症者施設へ教員が協力することについて、学内で検討したことがありますか

項目	回答数	割合
はい	7	77.8%
いいえ	2	22.2%
合計	9	100.0%



(4) 大学院生が協力することは可能だと思いますか

項目	回答数	割合
はい	3	33.3%
いいえ	6	66.7%
合計	9	100.0%

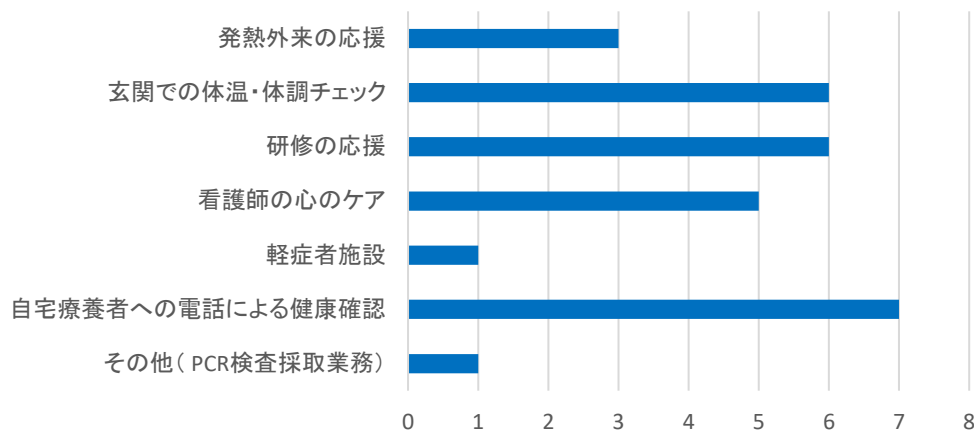


(5) 大学院生が協力する場合、配慮して欲しい事はありますか。

- ・ 院生は医療施設で働きながら(COVID-19対応も含み)学んでおり、さらなる協力は難しいと思う(4)
- ・ 大学院生自身の判断による自発的な参加を基本としています。
- ・ 一部の学生のみ

(6) 教員・大学院生が協力できると思われる業務(複数回答可能)

項目	回答数	割合
発熱外来の応援	3	33.3%
玄関での体温・体調チェック	6	66.7%
研修の応援	6	66.7%
看護師の心のケア	5	55.6%
軽症者施設	1	11.1%
自宅療養者への電話による健康確認	7	77.8%
その他(PCR検査採取業務)	1	11.1%



(7) その他の意見、要望

- ・ 業務内容としては協力可能であるが、大学もコロナで遅れた授業を従来の休み期間に実施したり、新しい授業形態に対応するため通常以上の業務を行っているので、実施に際しては学事に支障が出ないよう、配慮いただきたい。
- ・ 実習や授業、試験などの教育計画変更に伴う業務により学内での仕事は通常とは異なっているため、大学もゆとりのある状況ではない。
- ・ 本学内では、大学として教員や大学院生に指令するわけにはいかないことを確認している。ついては、教員・大学院生ともに自発的に参加することとしている。
- ・ 大学として学生第一に考えると、現場で直接ケアは難しいが教育にかかわることはできる。何かの形で協力したいと思う。
- ・ 当大学は完成年度前であり、教員が年度ごとに補充されている状況から講義や実習指導に時間がとられているため、協力することが難しい状況にある。
- ・ 大学での本務を行いながらの協力となるため、限られた者が長期間協力することは難しい。そのためチームを組んで、できる範囲で協力させていただけるような体制整備にご高配願いたい。